

編集後記

昨年話題を呼んだ映画「関ヶ原」で岡田准一さんが演じていた石田三成。映画ではカットされてしまったそうですが、敗戦の将として処刑される直前の「干し柿」のエピソードが有名です。三成が刑場に連れて行かれる時、「水はないか？」と聞く。すると「干し柿ならあるぞ」と言われるが、三成は「柿は痰の毒だから食べない」と。「これから死ぬ人間が何を言っている」と言われた三成は「大義を思うものは、首をはねられる瞬間まで命を大事にして、本望を達そうとするものだ」と答えたというエピソードです。「痰の毒」は「お腹を冷やす恐れがある」という解釈が一般的ですが、三成はもともと下痢をしやすい体質で、関ヶ原当日も調子が悪かったらしいと言われています。現代で言えば過敏性腸症候群だったのだらうと想像されます。「三成腹」などとも言われています。

明らかな器質的異常は認められないが、身体機能に異常が現れる疾患の総称として機能性疾患という概念があります。あまり科学的な用語ではないという意見もありますが、実臨床ではしばしば経験され、治療に難渋する場合も多いのが事実です。今月号の特集では小児科日常診療で問題となる、起立性調節障害、過敏性腸症候群、機能性ディスペプシア、慢性疲労症候群、PTSDをはじめとするトラウマ関

連疾患、むずむず脚症候群、片頭痛という7つの疾患について解説をいただいています。検査では異常が見つからなくても患者さんの訴えを大事にされるという小児科医であればあるほど、この特集に興味がおありのことと思います。

「綜説」では、外国人小児の診療の実際、脳性麻痺のリハビリテーションについて論じていただいています。外国人患者の診療は東京オリンピック開催を控えた今、タイムリーな話題と言えるでしょう。「診療」では児童精神医学初期評価フォーマットについて、NICUにおける耐性菌対策について、子供の東洋医学的治療について、「小児保健」では母乳バンクについて、それぞれ重要ですぐに役立つ知見が掲載されています。「症例報告」は3編で、性的虐待、川崎病の頸椎病変、遺伝性血管性浮腫の報告です。どれも大変興味深い内容です。

乳児健診で心雑音を指摘されたという患者さんを聴診して、「おそらく機能性雑音だと思います」と言ったら、親御さんに「気のせいでしたか」と言われたことがあります。「気のせい」じゃなくて「機能性」です。この場合だけは結果的に大きな違いはなかったわけですが。

(伊藤 保彦)

編集：伊藤保彦・河野陽一・中西敏雄・岡部信彦・高橋孝雄（ABC順）

小児科

第59巻第3号 3月号
2018年3月1日発行（毎月1回1日発行）
定価（本体2,600円＋税）
年間購読料金
定価（本体41,000円＋税）
〔年間13冊（増刊号、増大号を含む）の誌代〕
〔年間予約購読者に限り送料無料〕
※別冊は年間購読に含まれません※

発行所 金原出版株式会社
発行者 福村直樹
〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14
Tel 03(3811)7165〔雑誌部直通〕
Tel 03(3811)7184〔営業部直通〕
Fax 03(3813)0288
<http://www.kanehara-shuppan.co.jp>
振替口座 00130-1-191269
印刷所 三報社印刷株式会社 Tel 03(3637)0005
広告申込先 福田商店 Tel 06(6941)5600

- ・本誌に記載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は金原出版株式会社が保有します。
- ・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail:info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。